

授業概要

図書館の設置及び運営がどのような制度に基づいているのかを学ぶ。
また、利用者の視点に立った図書館経営の在り方を考えていくために、図書館経営に係わる組織、管理、運営、各種計画に関する基本的な知識と共に、図書館に関する法律、関連する領域の法律について解説する。

授業計画

第 1 回	ガイダンス
第 2 回	図書館経営とは
第 3 回	図書館経営の意義
第 4 回	図書館経営の理論
第 5 回	図書館の職員
第 6 回	図書館の組織
第 7 回	図書館の計画
第 8 回	図書館の業務・サービスの評価
第 9 回	図書館の制度
第 10 回	図書館の管理形態の多様化
第 11 回	関連する法規①日本国憲法、教育基本法など
第 12 回	関連する法規②地方教育行政法、地方自治法など
第 13 回	関連する法規③サービスに関連する法令
第 14 回	図書館法
第 15 回	図書館政策
第 16 回	定期試験

到達目標

図書館法をはじめとする、図書館に関連する諸法令についての概要を説明できるようになる。また、図書館がどのように経営されているのか、職員や資料、施設との関係を学び、図書館の現状と課題を解説できるようになる。

履修上の注意

遅刻は授業開始 30 分までとし、それ以降は欠席とする。
授業の 2/3 以上の出席を必要とする。

予習・復習

予習及び復習として、授業で出てきた専門用語の意味などを調べておく。
必要に応じて実際に公共図書館を見学したり、図書館に関連するニュースを検索したりして、図書館に関する理解を深める。

評価方法

定期試験 80%
受講態度 20%

テキスト

資料を配布するため、テキストの購入はない。